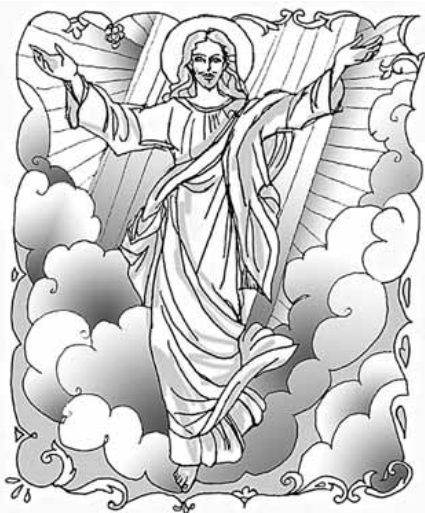




カトリック町田教会  
町田市中町 3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512

### いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



「主イエスは、弟子たちと話した後、天に上げられ、神の右の座に着かれた」  
「...あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる」 マルコ 16:19 / 徒 1:11

## 町田教会にやって来るまでの歩み

主任司祭 小池 亮太



私は、一九七〇年に東京の高円寺で生まれ、母親がカトリックの信者だったことから、生まれて約三ヶ月後に洗礼を授けられました。でも、私は小学校に上がるまで教会に行

ったという記憶はありません。高円寺教会で初めて出会った「神父さん」は、主任司祭であった井出雄太郎師(本郷)と助任の西川哲弥師(浅草)でした。それから高校を卒業するまで、助任は稲川保明師(関町)、平原陽一師(二〇一〇年五月帰天)と代わってゆき、主任も西英夫師(ペトロの家)に代わり、助任には幸田和生師(補佐司教)が着任しました。

また、当時神学生の立花昌和師(木更津)が高円寺教会に研修に来ていました。

私は高校を卒業すると、陶芸家になるために京都で一人暮らしを始め、弟子入りして働き始めると、日曜日しかなかった休みを利用して京都に限らず大阪や奈良まで美術館や博物館に出かけていたこともあり、教会にはほとんど行きませんでした。けれど、盆暮れに東京に戻ってくれば高円寺教会に顔を出し、神父たちの旅行に連れて行ってもらったりもしていました。そのような旅行中に突然、寺西師が「亮太、おまえ幾つになった?」と言いだしたので、「二十三です」と答えると、「そうか。おまえも神学校に入れる歳になったか」と言うのです。陶芸家になる以外の将来を考えていなかった私は、その言葉を気に留めませんでした。その三年後、神学院の院長に就任していた寺西師の所へ「神父になりたい」と相談しに行ったのです!

東京に戻ってきた私は、高円寺教会の主任であった田中隆弘師(神田)から、神学生候補として東京教区へ推薦していただき、森一弘司教と神学生担当の司教数人との面接を受けた上で、東京教区の神学生として神学院に推薦され、

無事に神学院に入学することができました。そして、私が入学した同じ年に、高木賢一師は神学院のスタッフに就任したのです!

神学院での養成の中に土日の小教区での実習があります。松戸教会(小川拓郎師)で一年、関町教会(藤岡和滋師)に一年、八王子教会(藤井泰定師、マルコ・アントニオ師)に二年、関口教会(岩橋淳一師、伊藤幸史師)で一年、お世話になりました。その間、東京教区の教区長は白柳誠一枢機卿から岡田武夫大司教に代わり、補佐司教も森司教から幸田司教に代わりました。神学院の院長も寺西師から板垣勤師(仙台教区)に代わり、神学院の建物も新しくなりました。

しかし、私は養成を受けながら、様々な出来事や人との関わりの中で、自分の司教召命に疑問を持つようになっていました。司教になるまでには、助祭司祭候補者認定、朗読奉仕者選任、祭壇奉仕者選任、助祭叙階という段階を踏んでゆきます。そして、その都度、請願書を提出するのですが、私は「祭壇奉仕者の選任願い」を出すことができませんでした。岡田大司教の「迷っているなら急ぐ必要はない」という判断から選任は見送られました。

そのような時、八王子教会でお世話になったマルコ師から「メキシコにあるグアダルーペ宣教会の神学院で研修したらどうだ」と提案され、大司教は悩んだようですが、二年間の研修が決まりました。メキシコでの体験は私にとって非常に大きなもので、自分の司教召命を確かめるための重要な時間となりました。

研修が終わって神学院に復学すると、院長は平田豊彦師(名古屋教区)に交代していました。その後、助祭叙階も受け、無事に神学院を卒業し、二〇〇五年五月八日に東京カテドラルにおいて岡田大司教により司祭に叙階されました。最初の赴任先である立川教会で三年の間、主任の辻茂師(板橋)、信徒の皆さん、また多摩北宣教協力体と一緒に働いた山本量太郎師(関口)、稲川圭三師(八王子)から多くのことを教わりました。

その後、二〇〇八年から主任司祭として任命された小岩教会で三年間を過ごし、二〇一一年の春に町田教会にやって来たのです。書き切れませんが、祭と信者の皆さんに支えられながら私はここまで歩んできましたし、これから町田教会でも、信者の皆さんと共に歩んでゆけたらと願っています。

運営委員会の議長になって

運営委員会議長 立木 欣吾



今年、運営委員会の議長を務めさせていただくことになりました立木と申します。

町田教会で洗礼を受けたのは二〇〇八年のクリスマスの時です。信者歴は短い方です。

昨年は副議長をしております。一年先輩の運営委員の方に頼りっぱなしのまま、一年間が過ぎてしまいました。

それでも毎月一回の運営委員会には出席して、ようやく運営委員会のやっている流れは理解できるようになりました。

経験がないだけでなく、神父様の異動に加え、大震災や原発事故という未曾有の災害が続く社会は不安定、教会の運営は、皆さんのお力をお借りしなければとても乗り切れそうもありません。

今年の運営委員会の抱負や方針は何ですか、と何人かの方に聞かれました。個人的に町田教会はこうあってほしいという希望はあっても、抱負や方針などと言えるほどのものはありません。議長は運営

委員会の議事進行を司る役割です。神父様の御指導を仰ぎながら、運営委員の皆さんや信徒の方の意見を広く取り入れて、教会としてどう取り組んでいくかということを決めていく役割を担っているのが運営委員会、その運営委員会の議事が円滑に運ぶようにしていくのが議長の役割であると認識しています。

それを前提に申し上げるならば、新しく来られた方や若い方の意見が尊重され、また立場の弱い方や子供が歓迎される教会でありたい、今まで町田教会がそうであったように、引き続きそうであってほしい、と願っています。そのためには声なき声に耳を傾ける努力を惜しまないようにしたいと思います。教会に足を運んだ時に、入り口で門が閉ざされてしまうような敷居の高い教会であってはならないと考えています。

教会に行けば温もりが感じられ、教会に行けば気持ちが悪くなく、祈りを捧げることが穏やかに一週間が過ぎる、そんな教会であることが私の理想です。

議長になって一ヶ月半、今までよく知らなかった方から意見を頂くことがあります。言われてもよくわからなくてあたふたしてしまうことも度々です。また、励ましの言葉をかけてくださる方もいらっしゃいます。見てられないよ、ってことなのかもしれないけれど、教会に通うことが、より一層楽しみにもなってきました。これまで思ってもみなかった状況に出会うこともありますが、どう対応すればいいのか、何を神様は望んでおられるのかを自分に問いかけつつ、答えを見出していきたいと思います。

一日黙想会に参加して

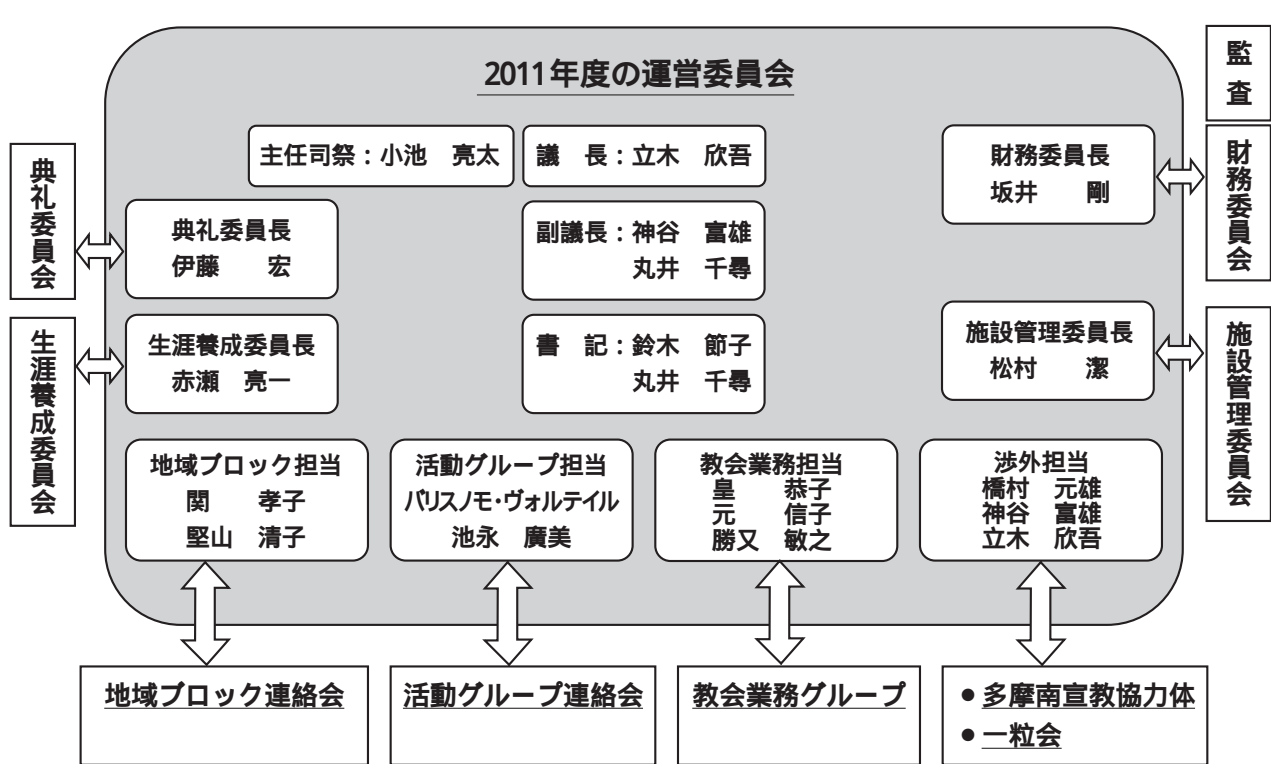
坂井 剛

ちよつと日常を離れ、静かな環境で自分の心と対話しよう……。三回目になる町田教会生涯養成委員会主催の「一日黙想会」が四月十日(日)に行われました。

指導は高木賢一神父、参加者はおよそ百五十人、高木神父の異動発表後ということもあり沢山の方が参加され、私も特別な思いで参加しました。

生涯養成委員会は、高木神父が常日頃話されている「教会は信仰共同体であって成熟していくはずのもの」という一環として発足した指導の一環として発足して企画されています。

(5ページへ続く)



ますますのご活躍を  
**高木賢一神父**  
 主任司祭  
 2003年4月  
 2011年4月

神の言葉のよき通訳

安藤 康弘

高木神父様、八年間ありがとうございました。

高木師とは、町田教会の新しい運営のしくみ作りと一緒にさせていただき、今までに関わった司祭で一番お世話になったと思います。

高木師は、説教や講話、勉強会等でファンが多かったと思います。

我々カトリック信者はイエス・キリストの下に集まっているわけですが、「神のみ言葉」はときに難しく、神父という通訳を介してつながろうとする傾向があります。

ゆえに信者は、神父という存在自体にひかれたり、通訳が自分に合わなかったりすると、自分に合った神父を探すのです。そのため、司祭の異動とともに信者が教会を移ったり、ミサに来る信者数が変動したりします。

高木師は、教えについても教会運営についても、神父が主役ではない」というメッセージを発信し続けました。これからは活躍の場こそ変わりますが、我々信者と

エス・キリスト、共同体と共同体 これらをつなぐ通訳として、更なるご活躍をお祈りしております。

ありがとうございます

小溝 茂雄

高木神父様は話が上手で、ミサの説教、聖書講座や要理講座、黙想会などの講話と、いつも大変分かりやすく印象深いものでした。

まず話の枠組みを示し、個々の事柄についてはヘブライ語やギリシア語の原文から説明していただきます。そして、初代教会の姿やカトリック教会が育んできた伝統などからその福音の述べ伝えんとすることを解説してください。単に字面を読むだけだった私も理解を深めることができました。これから神父様の講座を受講して体系的に勉強していくかと思っただけに残念です。

文学や音楽の造詣も深いインテリの神父様でしたが、納涼祭のテント張りなど、皆で作業するときには捻り鉢巻をしておどけてみせてくれる神父様でもありました。町田教会を離れてしまわれ

るは大変残念ですが、今後は東京教区全体のために働いてくださるのことでありますので喜んでお送りしなければと思っています。

高木神父様との思い出

島田 和人

高木神父といえば、土曜学校や中高生会でいろいろと出かけていった思い出がありま

す。遊んだ記憶ばかりが多いなかでばつと思ひ浮かぶのが「早食い」と「ジェットコースター好き」です。夏期学校で食事をすればやたらと食べるのが早く、横に座っている小学生はもちろんリーダーよりも早く食べてしま

また、ジェットコースター



町田カトリック信徒大学ゼミ、

二〇一一年 一月



神と人のよき通訳、

二〇〇八年 八月



頭にタオルを巻いて…、

二〇〇六年 八月

が好きとあって、中高生会の錬成会で行った富士急ハイランドでは、絶叫系の乗り物はほとんど乗りつくしたのではないでしようか。中高生が怖いといった絶叫マシンも、楽しい。もつと怖くて面白い」と言うぐらいでした。

高木神父との思い出という

真中 祐一

4月17日に開かれたヨゼフ会の高木師送別会には34名の男性信徒が集まったが、口々に同師の博識ぶりが感嘆と称賛を交えて披露された。

師が2003年着任後すぐ始められた聖書勉強会に、私



…はほどほどに、健康に気をつけて、

二〇一一年 四月

は末席を汚してきたが、それは町田カトリック信徒大学ゼミの感があった。大学の授業には休講が付きものだが、ほとんどそれがなかったのも驚きである。

原語にさかのぼる説明の中で、忘れられない言葉の一つに「スプランクニゾーマイ」(ギリシア語)、日本語では

らわた・する」がある。神の本性「憐れむ」を示す言葉だと教えられた。

私が出席したものに、旧約は創世記、出エジプト記、レビ記、イザヤ書。新約ではマタイ、ルカ、ヨハネ、使徒言行録、黙示録、主日の福音があるが、それ以外にもマルコ、申命記が講じられた。

要理はもちろんのこと、週日に司牧・宣教プログラムがこれほど充実していたことは記憶にない。

「講義」のあとの茶飲み話がこれまた絶品で、説教では絶対聞けない教会よも山話が聞けたのも嬉しかった。

神に感謝！ 高木師に感謝！

### 惜別と感謝

水野 貴久子

ある日、痛々しい擦り傷を二の腕まで負われた神父さまが、「土曜学校で鬼ごっこをして」と腕白坊主の笑顔で話された。このように、子どもから老人まで一人ひとりと真剣に接して大切なものを残してくださったので、誰もが惜別と感謝の思いでいっぱいである。着任早々、町田教会の意思決定の枠組み作りと、その透明性と説明責任を果たすことを強調して取り組まれた。そのやり方は、話し合いを重ね、皆の納得が得られるまで忍耐

強く時間をかけるといいうものであった。

さらに、数多くの聖書や要理の勉強会、教会の歴史や典礼の解説などを通して、信徒が深い信仰の上に立ち共同体の一員としての役割を担えるように導いてくださった。

一方、連続講座を開いて、宣教協力体の基盤強化を積極的に進めてくださった。

神父さまのお陰で、着任された頃に新しい建物の中に鳴っていた不信と不満の不協和音は消え、今私たちは、静かに神の声を聴き、心を一つにして神の御心に添って、愛の調べを外に向けて響かせたいと願うようになったのである。神に感謝！ 高木神父さまに感謝！

東京大司教区事務局長の重責を担われる神父さまに、神のご加護をお祈り申し上げます。

### 子供たちから

小5 新しゅ 百菜実

高木神父様は、いたずらをするのが好きなんだなと思いました。なぜかというところ、じょうだんをよく言うし、転動しても、たまに後ろの方でうでをくんで見ていよう」と言っていたからです。

高木神父様はよく私に侍者をやってほしいと言っていました。が、できなかつたので、

これからはできるだけやりたいと思っています。高木神父様、これからもがんばってください。

小6 矢萩 朋夏  
頭にタオルをまいて、納涼祭のヨーヨーを作る神父様。私たちの作ったカレーをお

いしそくに食べる神父様。大なわを一生けん命、上手にとんでいた神父様。

子供のごミサの時、わかりやすくお話をしてくれた神父様。いつもニコニコと声をかけてくれたやさしい神父様。どの神父様も、私は忘れません。

## 実り多い日々を 田中昇神父

祭司 2010年4月  
助任 2011年3月



### 神とともにいまして

富田 文子

田中神父様、美しい五月のイタリアの空の下、充実した日々をお過ごしのことと存じます。

神父様をお送りした今、感謝の思いとともに心に浮かぶのは、神様の救いのみ業を柔らかい心で思いを込め力強く説かれるまっすくなお話し

に心からお祈り申し上げます。どうぞお元気で。

東日本大震災とフルート

元 信子

三月十一日の地震の直後、私は小田急模原から野菜と鍋をキャリーバックに入れ、一時間以上かけて歩き、二時間遅れて教会に着きました。この日の田中神父のお別れ会に参加できたのは、結局三人になつてしまいました。

私が田中神父の聖書講読会に参加させて頂いたのは六ヶ月の短い期間でした。これまで私は生きるのが精一杯、心のゆとりもなく、聖書の勉強会に参加するのははじめてでした。勉強会の内容が主日のお説教と同じと思っていました。しかし一つの聖句を幅広く、深く説明され、質問に対しても丁寧に答えて下さいました。

最後の御ミサのときはお説教の中で、四旬節の四十日の意味を旧約聖書の様々な出来ごとに重ね合わせて説明され、キリスト者はこの大震災を通して神に信頼し、祈りによって生きる希望が与えられると話されました。

私はあの非常事態の中で、田中神父のフルートの素敵な音色を共に喜びのうちに聴くことができ感謝しています。



今回の黙想会で一人静かに祈り、自分を見つめながら、家族のこと、東日本大震災被害者のこと、生と死について、キリストの受難と復活……、そしてこの黙想会を企画した生涯養成委員会についても静かに思いを巡らせることができました。

この「雷の子」が発行される頃には委員募集も終わっていますが、皆さんは生涯養成委員会をどのように考えておられますか？

「生涯養成」といったネーミングが二の足を踏ませるのかも知れませんが、私は参加自由の委員会に出席していましたが、自由な議論がなされていきました。委員会発足まで粘り強く会を運営された加瀬さん、そして現在の赤瀬委員長が信徒と共に歩む等身大の集まりを意識されているからだと思います。

中3 新 隼人  
僕は、3月19日に錬成会に参加しました。ほんとは一

一日黙想会でいろいろな思いを巡らしていましたが、新しく着任された小池神父の指導のもと黙想会を含め新たな取り組みはどのようになるのだろうか！と、わくわくしていました。手作りの生涯養成委員会の企画に、皆さんと一緒に支援したいですね。

「がんばれ！養成」

中高生会 春の錬成会  
リーダー 本宮 智愛

今年の錬成会は地震の影響を受け、教会にて日帰りで行った。3月19日(土)朝10時に集合し、お昼ご飯を街中で一緒に食べ、買い出しをして教会に戻った。

今回はキーキ作りとゲーム大会を行った。キーキ作りでは見た目重視のキーキを目標に作っていたが、作るうちに想像していたものと変わってしまったようだ。ゲーム大会では、皆で一緒に選んだ景品を賭けた真剣勝負のカードゲームを行ったため、白熱した戦いになった。

今回は新中学一年生も交えた、普段より多くの中高生が集まり、とてもにぎやかな錬成会となった。

## 信者の手作り芸術グループ

信者の手作り作品で教会を美しく飾ろうという目的で発足！初志の作業が一応終了。本年度で解散するグループをしほ(池永)

2001年新聖堂建設に合わせ発足！

メンバーは固定せず！課題に応じてメンバーを募集！

- 刻字(深海)
- 純画
- 水墨画(遠山)
- 水彩画(佐藤)
- 木彫
- 油彩画(澤村)
- 押し花(萩島)

★小聖堂の聖家族像の制作

不思議な導きとまわりの励ましで完成!!

彫刻ははじめて!

貧難を思いのぞかしながら1年かけて完成!

★聖堂入口扉の両側にレリーフ設置

浅石さんの書を佐藤さんがレリーフ

聖ヤコブ(町田教会の保護聖人) イエスとサマリアの女(ヨハネ 4-14) (ヤコブの手紙 1-22)

★「町田聖歌集」の作成参加

★「アートギャラリー」設置・展示

飾る方式 範囲など 細部にアイデアがいっぱい!

★「クリスマス馬小屋セット」の修復

欠損部分は石粉粘土で成形 折ひまひまに鉄釘をた!

修復で新規購入はまぬがれた!

★「クリスマス馬小屋セット」の修復

2009年クリスマスに修復された馬小屋セットでクリスマスを迎える

● かがりた(大部分) 紙面上 省くが綿密な修復作業は通常の技術の域を越えている

● 4又糸内箱のアドバイスも!

2002年5月19日 聖霊降臨の祝日 ケルン大聖堂のミサで制作を決定

代表の 佐藤正敏さん

イエスの担ぐ木を 種の木 優しく支えるマリア 大工仕事を 手伝うイエス 十字架の横木を 削るヨゼフ

聖母子像の 選定に参加

残り像も完成!

2009年クリスマスに修復された馬小屋セットでクリスマスを迎える

● かがりた(大部分) 紙面上 省くが綿密な修復作業は通常の技術の域を越えている

● 4又糸内箱のアドバイスも!

第二バチカン会議で教会は各地の特色を生かして新しい芸術様式で人々の魂を神へ導く作品を制作するようにと招いているヨハネ・パウロ2世

泊の予定だったので行けないはずでしたが、地震の影響で日帰りの錬成会となったので参加できることになったのです。当日は午前中に集まって



昼食を食べに行くまで少しだけ時間が余っていたので、2〜3回だけトランプを使って大富豪をして遊びました。昼食はフライデーズというハンバーガー屋に行きました。ハンバーガーは、大きくてもおいしかったです。そのあと、夕食のカレーやケーキの材料やゲームの賞品などの買い出しに行きました。教会に戻ってカレーとケーキを作りました。そのあと、大富豪やウノをしました。一番得点が高かったのは僕の弟でした。最後にカレーやケーキを食べました。とても楽しかったです。

# ワンポイント聖書

十戒・その二

「あなたには、わたしをおいて、ほかに神々があつてはならない。

あなたはいかなる像も造ってはならない(中略)。わたしは嫉妬深い神なのだ。

わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える」(申命記5章7〜10)

前回に続いて、第二の掟を「らんに入れましよう。あなたには、わたしをおいてほかに神があつてはならない」とあります。

この部分、原文の語り口は「あなたにはありえない、他の神々が、



(181)

前島 誠

私の顔の上に、(7節)となっています。

他の神々が、何人雁首カシラを揃えても、私に敵対することはできない。だから心配ご無用だ。これがこの掟の中身でした。

「いかなる像も造るな」(8節)という命令は、これに続く当然の帰結です。

ユダヤ教のシナゴーク(礼拝堂)には、聖像の類がありません。中央の読誦台に置かれた聖書(旧約)の朗読を中心に、毎土曜日安息日の礼拝 成立条件は10人の成人男子(13歳以上)の出席です。

なお「父祖の罪を子孫に三代、四代までも問う」(9節)とあります。これは罪の影響が、同時代に生きた家族全員に及ぶとするユダヤ人の考えによるものでした。

## 御復活祭おめでとう

(4月24日)



## 信者動静

2011年3月～4月

(個人情報のため、削除しています)

### 犠牲献金

中高生会

- 3月13日 13,458円 (ペロニカ苑へ)
- 4月3日 51,916円 (東北関東大震災へ)
- 5月1日 15,579円 (仙台教区へ)

「雷の子」次号編集会議予定

6月19日(日)09時30分

於会議室

長年にわたり広報の責任者として「雷の子」の編集にあたりてられた丸口義和氏が、このほどやむをえない事情のために業務から離れることになりました。長いあいだのご尽力に心より感謝いたします。